



vol. 3



発行／2016年10月17日
グリーンコープひろしま理事会
広島市安佐南区緑井1-28-47
TEL(082)831-1503 FAX(082)870-1800
組合員数 20,581人
出資金積立金総額 908,601,612円 (9/20現在)

日々の活動の様子は
こちらをご覧ください。

●グリーンコープひろしま 活動ブログ
『げんきくんのわくわく日記』
<http://blog.goo.ne.jp/greencoop-77>

●Facebook: グリーンコープ生協ひろしま
<https://www.facebook.com/gchihiroshima/>

●グリーンコープひろしまHP
<http://www.greencoop-hiroshima.or.jp/>

2016年グリーンコープ「共生・平和長崎自転車隊」の取り組みに参加しました。

●日程: 2016年8月8日(月)～8月9日(火) ●行程: 福岡県柳川市から長崎爆心地 松山公園

グリーンコープは、生命(いのち)をいちばん大切にしています。
子どもたちの生命(いのち)を育む食べもの、その食べものを育む環境も
生きている。だから食べものを守ろう!環境を守ろう!と取り組んでいます。
様々な取り組みは生命(いのち)が大切にされているかを考えます。

グリーンコープって深いですね。

そのグリーンコープの平和の取り組みは、いかなる理由があつても生命(いのち)が大切にされない戦争に「不戦」と言い続けてきました。世界中で争いことは絶えません。弱い立場の市民、女性や子どもたちが犠牲になっている現実があります。安全保障関連法案が可決された日本もこの先どうなるのか…と思います。

私は、この「共生・平和長崎自転車隊」に共感し、今年も自転車隊に参加させていただきました。今年は、小学4年生5人の子どもたちと一緒に走行しました。炎天下での走行ですので、暑さとの闘いでもあります。途中休憩地点では、氷や冷たい飲みものが本当にありがたくて、子どもたちはその氷で冷やしたタオルを首に巻いたり、ヘルメットの中に氷を入れて体温を下げたりしていました。初めて参加した子は、班の仲間たちから教えてもらっていて、子どもたち同士が仲間を思いやり、仲間の生命(いのち)を無意識の内に大切にしている微笑ましい場面にも出会いました。今年もかわいい子どもたちとの出会いに、暑さを忘れて癒されました!

自転車隊が走行する経路の沿道から、全力で応援してくださった応援隊の皆さんからも元気をいただきました。応援って、本当に力が湧いてきます。子どもたちの頑張る姿に号泣しながら応援してくださっている組合員の方々の姿に、思わずもらい泣きしそうになりました。今年も猛暑の2日間でしたが、グリーンコープの大切な取り組みが無事終了し、ホッとしました。

- 8月9日、「共生・平和長崎自転車隊」の「平和のつどい」に参加しました。
- 今年24回目を迎えるグリーンコープの「平和のつどい」は、長崎の爆心地にある「松山公園」で毎年行われています。
- 自転車隊の最終日、早朝出発した自転車隊が難関の日見峠を越え、松山公園のゴールに10時過ぎに無事到着。
- 『不戦』のゼッケンをつけ、疲れた様子の子どもたちを迎えて、松山公園の一角の涼しい木陰に集まり、熊野代表理事の挨拶で「平和のつどい」が始まりました。
- 自転車隊代表・組合員代表から平和のアピール、参加者への賞状と記念品授与などが進む中、原爆投下時刻が近づきました。公園の中は、ひと時静寂に包まれ、投下時刻の11時2分、全員で黙とうしました。
- 閉会後、グリーンコープひろしまの活動組合員が折った『折り鶴』を原爆慰靈碑に奉納し、平和の祈りを捧げました。
- 自転車隊に参加した子どもたちの中には日焼けして真っ赤になっている子もいましたが、それぞれ「戦争は嫌だ」という自分なりの言葉で『不戦』の思いを表現し、たくましく成長できているように感じました。
- 「共生・平和長崎自転車隊」の取り組みは、自転車隊に参加する子どもたちとそれを応援し支える大人たちだけではなく、グリーンコープ全体に感動と共感を与える大切な取り組みだとと思いました。

(理事会 大窪)



かごしまの組合員と



(理事長 熊野)



平和のつどいの様子



長崎市内を走る!

参加者の声 voice

○坂本晴紀くん(小3)/中央支部

ぼくは「できるかなあ?」と思っていました。
だけど、みんながはげましあったことで、やりきれました。
走った後のカフェミルクは、サイコー!でした。
日本だけではなく世界の人びとが平和でいられるようになってほしいです。「来年も、やな川で会おうね。」とやくそくしました。
これからもがんばって、銀輪隊もやってみたい
です。



○坂本志保さん(保護者)/中央支部

ジリジリと太陽が照りつける中、自転車隊、銀輪隊のみなさんが一生懸命走る姿は「感動!」の一言でした。
それを支えてくださるまわりの方々のサポート力、また地域の方々の理解と協力。みなさんの力が一つになって、この取り組みが実現している事を実感し、とてもすばらしいと思いました。
「生命」と「平和」の大切さを、親子で考えるよい機会になりました。参加させていただき、ありがとうございました。

GREEN
おいしいコープ
いのちのコープ
グリーンコープ

紹介します！！ わたしのおすすめ商品

※表示価格(税抜き)は、変動することがあります。

～さっぱり、しっとり、やさしい香り～ 『山鹿温泉水を使った化粧水 桜ゆらら 400ml』

価格734円

オールシーズン、私はこの化粧水を使っています。水質の良い熊本県山鹿市の温泉水を使っており、さっぱりしているのにしっとり、プルプルのお肌になります。期待以上の使用感です。日焼けしてほてった肌にも、乾燥してうるおいが欲しい時にもバシャバシャとパッティング。400mlも入っているので、顔、身体に惜しみなく使えます。香りはほのかなローズマリー。20代の娘も試したところ「これいいね。肌の調子がいい!」と某ブランド品から切り換えました。我が家では切らすことありません。



(理事会 山原)



～しそ風味の贅沢ふりかけ！～

『ソフトふりかけおいしそひじき 60g』 価格281円

芽ひじきとごまをベースに、しそを加えたソフトタイプのふりかけです。ひじきを柔らかくソフトに仕上げるために「短時間」「100℃以下」「常圧」で仕上げる独自の『ノンドリップ製法』を用いているそうです。こだわりの製法で作られたソフトふりかけ。食卓のご飯や、子どものお弁当のご飯にかけたり、ほかほかご飯に少し多めに混ぜ合わせると、ひじきの炊き込みご飯の気分が味わえます。焼き飯の具材に使っても美味しいですよ。食物繊維やミネラルを手軽に摂り入れることができそうですね。

(理事会 前津宗)



～さくさくした食感がたまらない～

『うの花クッキー 20枚』 価格171円

子どもたちが大好きな「うの花クッキー」。学校から帰ると「今日うの花クッキーある?」と聞いてきます。ないことがかりし、あれば姉妹で取り合いになるほど、我が家では欠かせないおやつのひとつです。クッキーはあまり好きではない子どもたちですが、この「うの花クッキー」は、たまごやバターは使わず国産大豆のおからと、有機栽培大豆の豆乳を練りこんで焼き上げているので、さくさくと食べやすく、くせになる商品です。植物性の素材だけでつくられた「うの花クッキー」を是非お試しください！

(理事会 藤井)



～ひろしまの自生ナタネ2次検査結果のお知らせ～

擬陽性反応のあった福山市の3検体、東広島市の1検体の合計4検体に対して2次検査を行いました。その結果、すべての検体において、陰性の結果が出ました。

いま、日本をはじめ世界でGM作物が増えています。GM作物とは、「遺伝子組み換え作物」のことで英語では“Genetically Modified Organisms”といい、略して「GMO」とも呼ばれています。日本ではGM作物は作られていませんが、国内に入ってきた遺伝子操作された作物が運搬中にこぼれ落ち、自生ナタネと交配することによって発生するGMナタネが各地で発見されています。グリーンコープの組合員が行っている汚染調査では、積みあげ港をもつ福岡で毎年、陽性反応が出て不安を感じる組合員も多くいます。ひろしまでも、毎年継続的に汚染調査活動を行っています。2次検査の結果、今年は10ヶ所で調査を行い、今回のすべての検体において陰性の結果が出た事に、活動にかかわった組合員一同、ひとまず安心しています。ただ、世界の動きを見てもGM作物はより広がりを見せているという悲しい現状は事実であり、今後も引き続き自生ナタネ汚染調査は行っています。

(理事会 反岡)

8月20日(土) ひろしま土砂災害復興イベント“ひまわりカフェ”

広島土砂災害復興イベント“ひまわりカフェ”に参加しました。

土砂災害から2年が経ち、山の中腹には砂防ダムの建設が進んでいました。当日はグリーンコープの組合員の方々からの支援金で建てられた、慰霊碑と壁画の前で追悼式が行われ、私も参列させていただきました。現地に直接足をはこび、改めて被災された方々の深い悲しみに触れました。この場所が災害復興のシンボルのひとつになればいいなと思いました。

その後、そこで行われたイベントでは、鉄板を持込みGC産直国産牛の焼肉などを食べていただき、他のボランティアの方々と一緒に会場を盛り上げました。

(理事会 坂本)



産地見学に行ってきました!! ~Visit to production area.~

8月18日(木)～20日(土)

りんご三产地視察・交流会

信濃五岳会
ながの農協飯綱
八ヶタ会（長野県）

長野県にある三つのりんご産地、信濃五岳会、ながの農協飯綱、八ヶタ会を訪問しました。

りんごはこれから「つがる」の収穫が始まるというタイミング、桃やネクタリン、フルーレンなどの果物は収穫最盛期でお忙しい中、生産者の方々は私たちを温かく迎えてくださいました。

桃の産毛でかゆくなるので作業が大変なことや、洋梨は9割の花を摘まれていること、フルーレンは収穫後に追熟しないので適熟の見極めが難しいことなどを知りました。

今季のりんごの作柄は春先の冷害でサビ果や斜傾果が例年よりも多くなりそうで、梅雨明け後の雨不足と猛暑のためツル割れが起きやすく、病気も多く発生している地域もあるそうです。しかし、収穫量には問題がなく、日中と夜間の温度差が10°C以上になっているので、甘くなるだろうとのことでした。

「旬のものは旬に食べてほしい。味ではだれにも負けないものを作っている」との生産者のことばが印象的でした。除草剤や摘果剤を使わずに減農薬でつくられているりんごを、一人でも多くの方に食べていただきたいと思いました。

(理事会 藤原)



8月18日(木)

みかん产地視察・交流会

百姓倶楽部八女の郷
(福岡県)

始めに、八女の郷の平さんのみかん園を見学しました。

特に苦労されていることは、安心安全を守るために、除草剤を使わないことです。除草剤を使えば2～3時間で作業は終わり、虫もつかなくなりますが、鍬などの手作業で行うことで、1日6～7時間もかかり、その作業が1週間近くかかるそうです。

また、今年九州地方は災害に次々と見舞われ、大変な打撃を受けられたということでした。昨年冬の暖冬から、一転1月下旬に起きた寒波による雪害に始まり、4月の熊本地震では、熊本の産地が大きな被害を受けました。崩れた部分をようやく補修したところに、6月の豪雨が襲い、地震で緩んでいた土が崩れたり高温多雨の影響で病気が発生した産地があり、7月以降は雨が降らず、高温が続き、みかんの木が弱ってしまう産地もあったそうです。今年は、全体的に小玉になるかもしれないとのことですが、小玉の場合、甘みが強めに出る傾向にあるそうなので、味には期待したいとのことでした。

単協からの報告で、ひろしまは、グリーンコープの産直みかんの安心安全をアピールする寸劇を行い、早期予約の取り組みをお伝えしました。また、活動組合員のみんなで書いたメッセージ集を生産者の方にお届けしました。

今年から組合員の声にこたえて、みかんの3kgの企画が始まりました。これは、農家の方にとっても大変な決断だったそうです。腐敗に対しても、辛子やワサビの成分を使った保鲜材の封入や箱の通気性がよくなるよう工夫したり、様々な改善策を考えておられます。

生産者の方の「腐らないみかんが食べたいですか?」という言葉がとても印象的でした。薬剤を使って、見た目がきれいでも、中身の安心安全さには、かなわないのではないかでしょうか。災害続きの九州地方において、「どうにもならん!でも投げるわけにはいかん!負けてたまるか!」という思いがあるとおっしゃっていました。何よりも、安心安全なみかんが大好きだからこそその言葉だと感じました。

私たちも、安心安全なGCの産直みかんが大好きです。生産者と組合員がお互いに顔を合わせ、声を直接聞きける貴重な体験をさせていただきました。その想いを持ち帰り、出会った組合員や周りの友たちにも声をかけ、しっかりと伝えていきたいと思います。

(理事会 吉崎)



